

2026年度 たいまっ子の生活

當麻小学校の児童としての自覚と誇りをもって行動しよう。



1 服装について

①標準服

- ・ブレザー（気候に合わせてブレザーの着用は自由）、スカート、半ズボン（男女兼用）、ブラウス、カッターシャツ、ポロシャツ
- ・儀式には、ブレザー（7・9月を除く）、ネクタイを着用する。

②帽子

- ・黄色の制帽（校章入り）

③靴

- ・下靴・・・運動に適したものを着用する。
- ※ハイカット、厚底、ローラーつき等運動に適さないものは不可

- ・上靴・・・白色のゴム付きのバレエシューズ

- ・体育館シューズ・・・白色で裏がゴムで滑りにくいもの

④靴下

- ・白・黒・紺色で膝下～くるぶしが隠れる長さのもの
- ※レース等飾りがついているものは不可
- ※入学式・卒業式の際は白靴下で統一する。

⑤名札（学校で購入可。1つ80円）

- ・規定のものを左胸につける。
- 登下校時は胸ポケットにしまう。（防犯上の観点より）
- 登校したら名前が見えるように出す。

⑥頭髮

- ・肩より長い髪は束ねる。ヘアバンド、ゴム止め等は、目立たない色（黒、紺、茶など）にし、カチューシャ、シュシュは使わない。
- ・パーマ、着色、脱色、ラインはしない。

⑦防寒着（着用期間は11月～3月末まで可とします）

- ・ベスト、セーター、タイツは防寒用として可。色は白、黒、紺、茶、灰色とする。なお、ベスト、セーターが上着から下にはみ出さないようにする。フード付きのものは不可。
- ・手袋は、体育の時間のみ先生の指示で着用しても良い。
- ・長ズボンは防寒着着用の期間のみ着用しても良い。色は黒、紺・灰で、華美でないものとする。

⑧体操服

- ・トレシャツ・紺の半トレパン
- ・肌着が首や袖からはみ出さないようにし、タイツや長ズボンは脱ぐ。
- ・赤白帽子（ひさし有り、あごひもを付ける）を着用する。
- ・トレシャツには学年、組、名前を書いたゼッケンをつける。

2 持ち物について

①ハンカチ・ティッシュを携帯する。

②水筒の中身は水またはお茶とする。ペットボトルを持って来る際は、ホルダーに入れる。

③学習に必要なものを持ってこない。

- ・シャープペンシル、飾り付き鉛筆、お金、おかし、携帯電話などを持ってこない。
- ・名札や筆箱にキーホルダー・ストラップ類・シールなどをつけない。ランドセル・ナップザックにキーホルダーは1つまで可。
- ・ぬいぐるみ型などの大きな筆箱は机の上の学習するスペースがせまくなるので使わない。

3 登下校について

- ・8時から8時10分の間に学校に着くように部団で登校する。
- ・登下校時は部団で並び、寄り道などをしない。
- ・決められた通学路を通って、登下校する。
- ・右側または路側帯側を一直列に並んで歩く。
- ・班長は部団旗を持ち、歩くときは肩に掲げる。また横断歩道などで班を誘導する際に使用する。
- ・下校時は一人にならないよう、集団で登下校する。
- ・下校後、校舎内に入る時は、先生の許可を得る。
- ・放課後に忘れ物を取りに来ない。

4 欠席について

- ・遅刻、早退、欠席する時は、teturu で必ず学校へ連絡をする。（登校班の人にも連絡をする。）
- ・体育を見学するときは、連絡帳を通じて担任に連絡をする。

5 校内生活について

- ・登校後は、校外に出ない。
- ・休み時間、ボールを蹴って遊ばない。
- ・特別教室や他の学級の教室は、先生の許可を得てから入る。
- ・廊下や階段は、右側を静かに歩く。
- ・トイレではスリッパに履き替え、使用後はきちんと並べる。
- ・保健室を利用する時は、担任の先生に伝え、少人数で来て、静かにする。
- ・図書室を利用するときは、静かに利用する。

6 家庭・地域での生活について

- ・子どもだけで校区外へ行かない。（ただし、當麻スポーツセンター、當麻図書館は可。）
- ・道路や畑などでは遊ばない。
- ・自転車に乗るときはヘルメットを着用し、左側通行をする。
- ・知らない人のさそいに、ついていかない。
- ・危険な遊びはしない。（空気銃、火遊び等）
- ・危険な場所（ため池、用水路、道路、線路など）では遊ばない。
- ・農作物や公共物を大切に、あらしたりいたずらをしたりしない。
- ・でかける時は、家の人に「だれと、どこへ、何をしに、帰る時刻」を告げていく。
- ・学校に遊びに来たときは、運動場では自転車に乗らない。自転車は南門の鉄棒の前に置く。また、お菓子は持ってこない。運動場の開放は4月から10月は4時30分まで、11月から3月は4時までとする。

7 その他※夏の安全に関して（5月～10月前後の暑い時期）

- ・クールタオル等の使用について
暑くなっていたら、登下校中は使用可能。
- ・水筒について
大きめの水筒や2本目の水筒など、工夫して準備する。（学校にいる間に、水筒が空にならないよう）
- ・日傘の使用について
家庭で相談して、安全に気をつけて使用する。